新しい人権

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

今日の問い

社会の変化にともなって生まれた「新しい人権」とは何だろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 新しい人権

社会の変化

3 良好な環境のもとで生活する権利。

5 国や自治体の情報を知ることができる権利。

7 私生活をみだりに公開されない権利。

9 自分の生き方を自分で決める権利。

社会が変化し、憲法に直接書かれていない問題が生じたため、第13条の **幸福追求権**[1]（こうふくついきゅうけん） などを根拠に **新しい人権**[2] が主張されるようになった。公害や開発への反省から **環境権**[3] が唱えられ、大規模な開発の前に環境への影響を調べる **環境アセスメント**[4] が法律で義務づけられた。また、主権者として判断するために国や自治体の情報を知る **知る権利**[5] も重視され、行政機関の情報の開示を請求できる **情報公開法**[6] がつくられた。

情報化が進み、個人の情報が広く集められるようになると、私生活をみだりに公開されない **プライバシーの権利**[7] が重要になった。個人情報の扱いを定めた個人情報保護法もつくられている。また、医療の場面では、患者が十分な説明を受けたうえで治療に同意する **インフォームド・コンセント**[8] が重んじられ、臓器提供の意思表示のように、自分の生き方を自分で決める **自己決定権**[9] も主張されている。

新しい人権	取り組みの例
環境権	環境アセスメント
知る権利	情報公開法
プライバシーの権利	個人情報保護法

2 国際社会の人権

世界の人権

10 1948年に国連が採択した、人権保障の共通基準。

11 宣言に法的な拘束力をもたせた条約。

13 子どもの人権を保障する、1989年採択の条約。

人権の保障は、一つの国だけの問題ではない。二度の世界大戦で人権がふみにじられた反省から、1948年に国際連合の総会で **世界人権宣言**[10] が採択された。すべての人が生まれながらに自由で平等であるとする、各国の共通の基準である。この宣言は法的な拘束力をもたないため、1966年に拘束力をもつ **国際人権規約**[11] が採択され、1976年に発効した。

その後、特定の人々の人権を守る条約も結ばれた。1979年の **女性差別撤廃条約**[12] は、あらゆる分野での女性への差別をなくすことを求めており、日本は1985年に男女雇用機会均等法を制定して批准した。1989年の **子どもの権利条約**[13]（児童の権利条約とも）は、子どもが守られるだけでなく、意見を表明する権利をもつ存在であると位置づけた。日本は1994年に批准している。

できた ＿＿＿ / 13

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。